

【参考情報】

1 ヒョウモンダコの特徴

このタコは、体長 10cm 程度の小型のタコで、刺激を受けると全身に青いリング模様が現れます。本来、熱帯域・亜熱帯域に分布し、浅い海の岩礁、サンゴ礁、砂と小石混じりの海底などに生息します。唾液腺や筋肉・表皮にフグと同じ神経毒のテトロドトキシンなどの猛毒を含み、かまれたり、食べると呼吸困難や心肺停止を引き起こし、死に至る場合があります。

2 注意事項等

磯などで、青いリング模様があるタコをみかけたら、絶対に素手でさわらないでください。さわらなければ、危険はありません。ヒョウモンダコを見つけた場合、絶対にさわったり、捕まえたりしないでください。

3 かまれたり、食べたときの処置について

かまれたり、食すると、数分後から唇、顔や首のしびれを感じ、めまい、言語障害に続いて急激に脱力感や嘔吐、呼吸困難が発現します。重症の場合には呼吸麻痺により死亡する場合があります。もしかまれた場合は、安静にして救急車を呼ぶなどして、すぐに医療機関(救急告示病院)で治療を受けてください。毒をしばらく出し、流水で洗い流すのは効果的ですが、口で毒を吸い出すのは非常に危険なので、絶対しないでください。

